

# 平成26年度 内閣府年央試算の概要

- 景気は緩やかな回復基調にあり、物価動向はデフレ状況ではなくなっている。
- アベノミクス「三本の矢」の強力な推進等により、雇用と所得の増加を伴う好循環が更に拡大し、今後、民需主導の景気回復が進むと見込まれる。

## ○主要経済指標

	(％、％程度)			
	平成24年度 (2012年度) 実績 (％)	平成25年度 (2013年度) 実績 (％)	平成26年度 (2014年度) 今回試算 (％程度)	平成27年度 (2015年度) 参考試算 (％程度)
実質GDP	0.7	2.3	1.2	1.4
民間消費	1.5	2.6	0.3	1.9
民間企業設備	0.8	2.6	4.9	4.7
内需寄与度	(1.5)	(2.8)	(1.1)	(1.3)
外需寄与度	(▲ 0.8)	(▲ 0.5)	(0.1)	(0.1)
名目GDP	▲ 0.2	1.9	3.3	2.8
消費者物価(総合)	▲ 0.3	0.9	3.2	2.5
消費税率引き上げの 影響を除く	—	—	1.2	1.8
完全失業率	4.3	3.9	3.5	3.5

(注) 寄与度及び完全失業率以外は対前年度比変化率。

## ○実質GDP成長率と寄与度

